

⑤2024年問題への取組みについて

	北海道西濃	神奈川西濃	三河西濃	関東運輸	ココネット
新たに取組みした内容(テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> ・【長距離・長時間を要する輸送の改善】協力会社による道内運行の内、特に長時間を要する道北便の調整 ・拘束時間13時間を超えていた札幌～稚内便を単車からトレーラー運行に切换え、中間店所(旭川支店)にてトラクターでドッキング・切り替えをして対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・SD残業時間の削減 ・公休・有給の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・拘束時間の問題 ・SDの戦力不足と高齢化対策で、効果的な求人を行う ・効率化について ・ムダの洗いだしと、それに対する改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・支店単位で拘束時間を把握し、毎月の収支会議で取組結果を報告し進捗を確認 ・月初に運行表を作成し、労働時間をコントロール。お客様の要望で減便・増便が発生するが経過時間を把握し、今までは時間関係なく行ける人が行っていたが、オーバーしないようにコントロールする 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間あたり生産性が低く拘束時間だけが長い現場の契約変更、および人員の配置見直し(業務量・労働時間の平準化) ・時間外労働増加の解決策としてのタイミ、協力会社の活用
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで札幌～稚内便は拘束時間15～16時間要していたが、10時間程に短縮できた ・単車1台・トレーラー1台運行をトレーラー1台に変更したことにより、グリーン物流に繋がった 	<ul style="list-style-type: none"> ・配達の少ない月曜日の出勤人員の調整 →公休取得の減少 ・物量に相関した出勤時間及び、変形時間の導入 →残業時間1時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人に関しては、高齢者の応募が多く、採用に至らない場合が多い ・実績:SD1名の採用 ・残業時間に関しては、安全衛生委員会の中で行っているが、人員不足による増加は否めない。協力会社、バイト等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に減少できているが、0まで到達していない ・実績<直前2月締と比較して> 6月度 68% 7月度 55% 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の配車を見直し生産性を平準化し、配車台数を5台削減 ・社員の時間外労働 夏季の繁忙期は、アルバイトの休暇取得コントロールがしきれず増加した。 年末繁忙へ向けて前倒しで計画を立てる